

仮訳

2019年5月8日

親愛なる小池知事へ

ニューヨーク市は、長年にわたり東京都と緊密な関係にあり、これら2つの都市が、ほぼすべての産業分野において、世界のリーダーとして知られています。

この私たちの不朽のパートナーシップと国際社会における影響力を共有していることに鑑み、本日、知事にお手紙を差し上げることと致しました。2020年にオリンピックおよびパラリンピックが開催されますが、それに先立ち、アフリカのゾウを守るための取組みとして、東京における象牙取引を禁止され、また日本の国内象牙市場の閉鎖に尽力されることをお願いしたいのです。

翌年の五輪の主要テーマは「持続可能性」とされ、これが「より良い未来へ、ともに進もう。」というコンセプトによって、五輪の行動規範に反映されています。象牙取引の禁止という画期的な行動は、ゾウの密猟を終焉させるための重要な国際的取組みというだけでなく、このイベントに参加する多数の海外からの訪問者を守ることにもなります。数百万人の人々が東京を来訪する際、厳格な象牙規制のある国々からも多数の来日があります。これらの旅行者と競技参加者は、自国へ持ち帰るお土産のために、それとは知らずに日本の法令に違反して象牙の違法取引に手を染めてしまうかもしれません。そうなれば、無用の苦痛を味わい、自らのオリンピック体験に傷をつける結果となるのです。

世界中に広がる保全への取組みの輪の中で、さらに多くの国が、象牙取引よりもゾウの命の尊重を選択しつつあります。ここニューヨークでは、環境保全および動物福祉が住民にとって重要な優先事項です。東京も、ニューヨークおよび他の世界の都市と共に、象牙取引に反対する取組みに加わっていただくことは、地球上の人々のより明るい未来のための力強い希望のメッセージを送ることになると確信しています。

2020年に先立ち、是非、象牙販売を禁止することをご検討いただければと思います。この取組みはアフリカゾウの命を守るだけにとどまりません。私たちすべてが恵沢を受ける、持続可能で強靱な明日に近づくためのさらなる一歩でもあるのです。